

## にいがた教育フォーラム 2019 in March

高木幸子

3月2日(土)、新潟大学教育学部において様々な立場の方と集い、教育や子どもについて語り合い、ともに学び合う機会として「にいがた教育フォーラム 2019 in March」を開催した。今回は、ワークショップ、ポスターセッション、ラウンドテーブルで構成して進められた。県内外の教職員、大学教員、教育委員会指導主事や一般の方々等、午前中には200人を越える参加を得て有意義な議論や交流が展開された。

【プログラム】 10:30～12:00 ワークショップ  
13:00～14:00 ポスターセッション  
14:15～16:00 ラウンドテーブル

### 1. ワークショップの概要

ワークショップは、テーマ「学校教育に役立つ技術等を学ぼう」のもと、教職大学修了生、大学教員、各分野の専門家や附属学校教員が講師を務め、専門的な視点からの講話や演習、交流など、多様なスタイルで講座が進められた。多岐にわたる内容(表1)で、参加者はそれぞれの学びを得ていた。アンケートには、「新しい教育課程をつくるのに参考となる視点をいただいた。」

「日常に役立つ方法を教えていただきました。レポートがある中で、決めていくこと、そして、子どもが自己選択、自己決定していくことが大切なのだと感じました。」など、学び

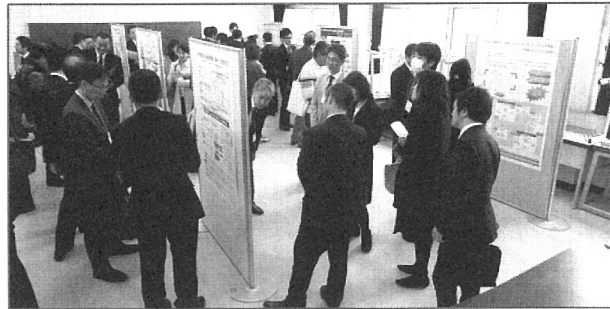
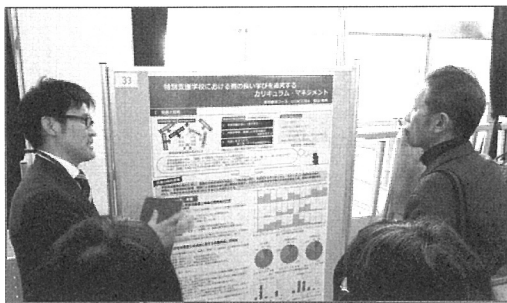
表1 ワークショップの内容

No.	ワークショップテーマ
1	授業の事例検討を通した子どもの学びの分析
2	連句を創ろう ～芭蕉の生きた連句の世界～
3	小学校英語の授業づくり
4	中学校数学における探究学習について体験的に考えよう
5	実感を学びにつなぐ食教育の教材や授業の工夫
6	家庭や障害のせいにしない不登校支援 ～「心のエネルギー」をためる行動技法の解説と演習～
7	学級・学校で活用できるアンガーマネジメントの基本 ～「怒りのコントロール」授業の体験とその活用方法～
8	小学校プログラミング教育をどう創る?
9	社会に開かれた教育課程をどう創る?
10	道徳教育における生と死
11	エンカウンターの新しい展開 ～社会性を育て対話を促進するツールとして～

を今後の取り組みにつないで生かそうとする記述がみられた。

## 2. ポスターセッションの概要

ポスターセッションは、教職大学院院生が各自の研究について発表し参加者とともに議論しあった。研究に取り組むプロセスや工夫、成果や課題について、参加者からの質問に答えたり考えを交流しあったりして、大いに語り合う様子が見られていた。また、大学教員・学部学生の取り組みや教職大学院の取り組みを説明したポスター参加もあり、様々な立場での充実した議論がなされていた。アンケートには「新しい視点をたくさんいただきました。ありがとうございました。毎年来ていますが、来年も来たいと思いました。」など継続的な学びの場となっていることがうかがえる記述がみられた。



## 3. ラウンドテーブルの概要

ラウンドテーブルは、6つの分科会（①教育課程編成、②授業づくり、③生徒指導・教育相談、④学年・学級経営、⑤学校経営、⑥特別支援教育）に分かれて行われた。話題提供者や参加者は、それぞれの課題意識に基づいて、悩みや取り組みを語り合い、議論を深めていた。アンケートには、「本音で情報交換ができ、有意義だった。」「地域との連携のために、管理職として何をすべきか、考えることができた。」「うまく指導・支援できず、困っていた事例に対し、様々な点から助言をいただき、整理することができました。すぐ明日から計画してやってみようと思います。」など自身の問題意識に引き寄せて語り合えたことの意義が多く記述されていた。

